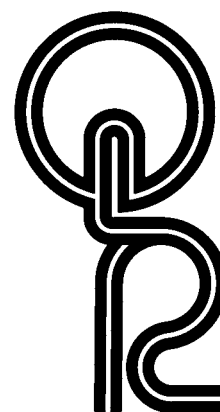
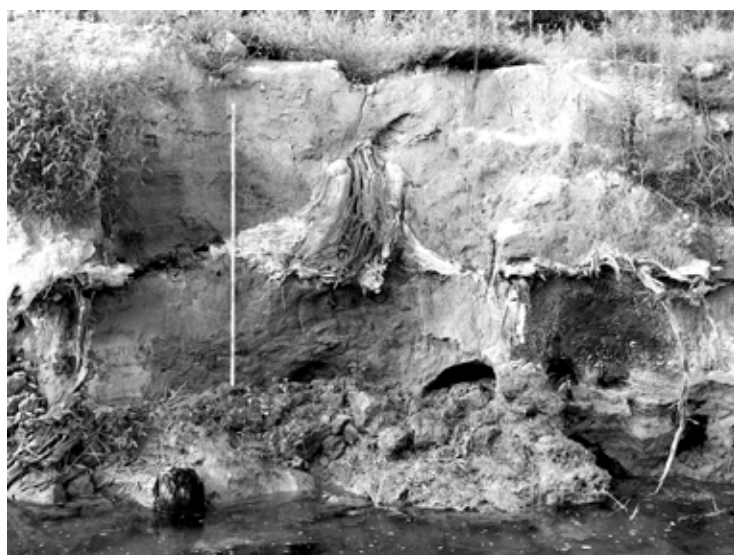


QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 28 No.2, 2021



山形市と天童市境界の立谷川において、2017年に増水による浸食が進み、最終氷期最盛期の多数の埋没木が見つかった(山野井ほか、2018、2019)。現在、樹種調査、大型植物化石、花粉化石の解析から、当時の植生が解明されつつある。(撮影：高原 光)

Vol. 28 No. 2

April 1, 2021

2021年大会案内(第4報)..... 2	評議員会議事録..... 7
JpGU2021年大会案内(第3報)..... 4	執行部会議事録..... 13
会員マイページ利用について..... 5	学生会員継続届け提出のお願い..... 15
役員選挙予定..... 5	会員消息..... 15
紙碑..... 6	

◆日本第四紀学会 2021 年大会案内（第 4 報）

本大会は、一般研究発表（口頭およびポスター）、シンポジウム、専門巡検を中心に、大阪市立大学を会場として開催します。開催方法は対面および WEB 活用を含めた実施を検討しておりますが、講演申し込み等につきましては、例年と同様の申し込み手続きを進めます。新型コロナウイルス感染状況に伴い、開催方法の詳細や手続きについては、6 月に発行される第四紀通信 3 号でお知らせいたします。

1. 開催場所

大阪市立大学杉本キャンパス田中記念館

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>

アクセス JR 阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車東口すぐ、

地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4 号出口より南西へ徒歩約 15 分。

大学には駐車場はありませんので、車による会場への来訪はお控えください。

2. 開催日程 2021 年 8 月 27 日（金）～8 月 29 日（日）

8 月 27 日（金）一般研究発表（口頭およびポスター）

8 月 28 日（土）一般研究発表（口頭およびポスター）、総会・各賞授賞式

8 月 29 日（日）午前：シンポジウム、午後：専門巡検「大阪の津波碑と地盤沈下地帯」

※一般発表の口頭発表、ポスター発表は、オンライン設定により、27、28 日の中でその割り振りを大きく変更する場合があります。

3. 各種締め切り日

一般研究発表の申し込み・講演要旨原稿提出：6 月 18 日（金）17 時

シンポジウムの講演要旨原稿提出：6 月 18 日（金）17 時

専門巡検参加申し込み：8 月 10 日（火）17 時

4. 一般研究発表

口頭発表は、大阪市立大学杉本キャンパスの田中記念館で開催します。ポスター発表は、オンラインのみでの開催とします。

5. シンポジウム「第四紀学視点からみた海洋環境と人間社会の関係」

会場：大阪市立大学杉本キャンパス田中記念館

日時：8 月 29 日（日）10 時 00 分～13 時 00 分

趣旨：地球の表面を広く覆う海洋は、地球環境の中でも重要な領域として位置づけられ、第四紀学においても、様々な角度から調査、分析が進められています。日本第四紀学会の領域 1 では、海洋循環、海水準変動、海底・海岸地形を研究対象とし、海洋の諸プロセスを明らかにする研究が行われています。海水準変動や海岸地形の研究などは領域 2「陸上の諸プロセス」とも関連しています。領域 3 では、海底の堆積物などの研究により、これまで層序と編年に関する多くの情報が提供されてきました。領域 4 では、海洋は生物圏の一部として位置づけられ、生物相の変遷などの研究が広く行われています。また、領域 5 においては、海岸侵食や自然海岸の埋め立て、サンゴ礁環境の悪化など、社会との関係の中で発生している問題や海洋環境が関わる自然災害について、その解決方法や被害軽減の方法を探っています。こうした海洋にまつわる最新の第四紀学の成果について包括的に示した上で、これからの海洋環境と人間社会の関係について総合的、学際的な議論をしたいと思えます。

6. 専門巡検

日時：8月29日（日）13時30分～17時（予定）

集合場所：JR 阪和線 杉本町駅東口 13時30分集合

見学内容（調整中）：安政南海地震津波に関わる大地震両川口津波記、防潮堤、防潮水門、地盤かさ上げなどの地盤沈下対策を見学します。案内は、三田村宗樹（大阪市立大学）が行います。公共交通機関利用と徒歩での移動（約6km）となり、現地での交通費実費支払いとします。

7. 各種申し込みと講演要旨原稿の送付方法

1) 一般研究発表の申し込み

(1) 発表者の資格と発表件数の制限

一般研究発表には、口頭発表とポスター発表があります。筆頭発表者（資格は会員であること）としては、口頭発表およびポスター発表について、それぞれ1人1件の発表申し込みが可能です。

(2) 発表形式と発表時間

発表形式は、口頭発表（オーラルセッション）およびポスター発表（ポスターセッション）がありますので、発表申込用紙で希望する方を選択してください。発表件数によっては、必ずしも希望の形式にならない場合もありますので、あらかじめご了承ください。口頭発表（オーラルセッション）の時間は1件15分程度（質疑応答時間含む）を予定しています（発表件数によって変更の可能性があります）。ポスター発表はオンラインのみとし、掲示方法やコアタイムの実施方法については、6月に発行される第四紀通信3号でお知らせいたします。

(3) 発表申込書と講演要旨の送付方法および締め切り

一般研究発表の希望者は、日本第四紀学会ホームページ（<http://quaternary.jp/>）の「2021年大会」ページ内の「一般研究発表の申し込み」にある「発表申込書」と「講演要旨の原稿」へのリンク部分からファイルをダウンロードし、必要事項を記入の上、以下の案内に沿って申し込みを行ってください。講演申し込みと講演要旨原稿の提出をもって受付とします。

- ・発表申込書と原稿は添付ファイルとして専用のアドレス [jaqua2021\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2021(at)gmail.com) に送付してください（atを@に変える）。メール件名は「発表申込_筆頭発表者名」、添付するファイルの名前は「講演要旨_筆頭発表者名」としてください。2件申し込む場合は題名の後ろにA、Bをつけて両者を区別して送信してください。受付期間は5月31日（月）から6月18日（金）の予定です。
- ・講演要旨の原稿はA4で1ページ（図表掲載可）です。「一般研究発表の申し込み」の「講演要旨原稿の書き方及びテンプレート」にある書き方にそって作成してください。講演要旨作成の際、テンプレートのフォントや行数などの設定は変更しないようにしてください。
- ・本学会員のうち2021年8月1日現在で39歳以下の方は若手発表賞に、学生・大学院生の方は学生発表賞にエントリーできます。エントリー希望の方は、申込書の該当箇所に記入してください。積極的なエントリーを期待しています。

2) シンポジウム依頼講演者の講演要旨の送付方法および締め切り

シンポジウムはすべて依頼講演形式とします。講演要旨の原稿はA4で2ページ（図表掲載可）です。シンポジウム依頼講演者の方は、7.1) (3)「発表申込書と講演要旨の送付方法および締め切り」に従った形式のファイルを、専用アドレス（[jaqua2021\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2021(at)gmail.com)）あてに電子メールの添付ファイルでお送りください。メールの件名とファイル名は「シンポジウム講演要旨：筆頭発表者名」としてください。

3) 専門巡検申し込み

メールで専用アドレス（[jaqua2021\(at\)gmail.com](mailto:jaqua2021(at)gmail.com)）あてに、メールの件名を「専門巡検申し込み」として氏名、所属をお知らせください。

8. 大会・巡検の参加費

- ・大会参加費：開催方法を検討中のため、参加費が決まりましたら、6月に発行される第四紀通信3号でお知らせいたします。
- ・専門巡検参加費：保険料（150円）と現地での実費支払い（380円）を予定しています。

9. 大会実行委員会および行事委員会

大会実行委員長：三田村宗樹（大阪市立大）

実行委員：井上 淳（大阪市立大）、中条武司・石井陽子（以上、大阪市立自然史博物館）

行事委員会：藤原 治（産総研）・池原 実（高知大）・井上 淳（大阪市立大）・岡田 誠（茨城大）・
目代邦康（東北学院大）

連絡先：2021年大会実行委員会事務局

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学大学院理学研究科 三田村宗樹

TEL：06-6605-2592、メール：mitamura(at)sci.osaka-cu.ac.jp

大会用メールアドレス：jaqua2021(at)gmail.com（atを@に変える）

◆日本地球惑星科学連合 2021年大会のお知らせ（第3報）

日本地球惑星科学連合 2021年大会－JpGU2021は、オンライン開催＋現地開催のハイブリッド開催で行われます。現地開催は、2021年5月30日（日）～6月1日（火）に「パシフィコ横浜ノース」（神奈川県）で行われ、ポスター発表メイン、そのほかに特別口頭講演、イベント等からなります。オンライン開催は、2021年6月3日（木）～6月6日（日）に行われ、口頭発表、ポスター発表、およびイベント等からなります。現地開催は縮小もしくは中止となる可能性があります。その場合の現地開催口頭講演は日程・プログラムはそのまま、オンライン発表に移行することになります。

発表プログラムは、3月24日に公開見込みです。3月末以降、JpGU2021サイト（http://www.jpogu.org/meeting_j2021/）をご覧ください。

3月初め時点での予定

H-QR04：第四紀：ヒトと環境系の時系列ダイナミクス（J、会場：ch16）

口頭：6月5日（土）AM1、AM2 ポスター：6月5日（土）PM3

S-SS10：活断層と古地震（J、会場：ch21）

口頭：6月3日（木）PM2、6月4日（金）AM1、AM2 ポスター：6月4日（金）PM3

U-13：Advanced understanding of Quaternary and Anthropocene hydroclimate changes in East Asia（E、会場：ch01）

口頭：6月5日（土）AM1 ポスター：6月5日（土）PM3

A-HW22：流域生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸まで（E、会場：ch12）

口頭：6月4日（金）AM1、AM2、PM1 ポスター：6月4日（金）PM3

H-DS08：人間環境と災害リスク（J、会場：ch15）

口頭：6月6日（日）PM1、PM2 ポスター：6月6日（日）PM3

M-ZZ45：湿地の価値とラムサール条約・ジオパーク・国立公園における管理（J、会場：ch16）

口頭：6月3日（木）PM1 ポスター：6月3日（木）PM3

※それぞれの時間帯は以下のとおりです。AM1：9:00-10:30、AM2：10:45-12:15、PM1：13:45-15:15、PM2：15:30-17:00、PM3：17:15-19:00

◆会員マイページの利用について

「会員マイページ」を利用して様々なことができるようになっています。会員マイページへは、日本第四紀学会ホームページ (<http://quaternary.jp>) トップにリンクが張られているほか、直接の URL は以下のとおりです。

<https://mypage.sasj2.net/site/jaqua>

(1) 会員情報更新

住所、所属先、連絡先の変更などがあれば、会員自ら更新することができます。また、連絡先など公開してもよい項目は、チェックを入れることにより、会員限定で公開されます。初期設定では氏名、会員区分、所属領域のみが公開となっていますので、必ず設定の更新をお願いします。

(2) 会員名簿検索

会員の公開情報を検索・閲覧することができます。冊子体の会員名簿は廃止となりましたので、このコーナーを利用してください。

(3) 会費の確認

会費の納入状況を確認することができます。

(4) J-STAGE 閲覧のパスワード

J-STAGE に掲載された「第四紀研究」の発行 1 年以内の論文と早期公開論文については、閲覧するのに認証が必要です。この ID (購読者番号)、パスワードは、冊子体の会員名簿に掲載していましたが、廃止に伴い、会員マイページ内の「お知らせ」コーナーに表示しています。

(5) 役員選挙

役員選挙の届出書類、候補者リストなどは会員マイページ内に掲示されます。また、投票も会員マイページに入って行います。詳細は役員選挙関連の記事を参照ください。

不明な点や問題が生じた場合には、日本第四紀学会事務局までメールにてお問い合わせください。

(庶務委員会)

◆2021-2022 年度役員選挙の実施について

2021 年 3 月 3 日付の会告「役員選挙の実施と候補者受付について」にてご案内しましたように、2021-2022 年度役員選挙が実施されております。投票は前回と同様、会員マイページ (<https://mypage.sasj2.net/site/jaqua>) からのウェブ投票を基本としています。候補者名簿や評議員被選挙人名簿などを含め、ウェブ投票に関する詳細は会員マイページに掲載いたします。みなさまの投票をお待ちしております。

なお、会員マイページへのログインには、会員番号(会誌・会報などが入った封筒の会員宛名欄に書かれている 10 桁の数字)とパスワードが必要です。パスワードはログイン画面の「パスワードをお忘れの方へ」から再設定することも可能です。

【選挙の予定】

4 月 7 日(水) 正午 ウェブ投票開始・ウェブ投票に関する詳細の掲載

4 月 26 日(月) 正午 ウェブ投票締め切り

4 月 30 日(金) 開票(予定)

(選挙管理委員会)

◆松島義章名誉会員を偲んで



北海道オホーツクにて（2010年撮影：松島義章氏画像ファイルから）

日本第四紀学会名誉会員、神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員の松島義章博士は、かねてより療養中のところ、令和3年（2021年）1月12日、ご逝去されました。享年85（満84歳）でした。松島博士は、第四紀研究とくに完新世の貝類を材料とした研究で、知られています。とくに、沖積層における貝類群集の区分を基礎に、縄文海進に呼応した貝類群集の時間的・空間的変遷を明らかにされ、海水準変動曲線の作成や完新世段丘とネオテクトニクス、さらには考古領域での貝塚産貝類組成による漁労活動まで、その研究領域はじつに幅広いものです。まさに沖積層の貝類を基軸として長年にわたり第四紀学へのご貢献をなされました。研究対象を海成沖積層の貝類群集に定め、まずは一人で回ることができる鎌倉や大船をフィールドにスタートされた調査研究は、南関東、さらには日本各地へと調査範囲を拡げられ、南は鹿児島から北は北海道オホーツクまで縄文海進に伴う貝類群集の消長を明らかにされました。

松島義章さん（親しみを込めて、松島さんとお呼びします）は、松島八郎さんの三男として1936年12月に長野県下伊那郡伍和村（現在の阿智村）で誕生されました。飯田高松高校（飯田高校）の地学部でフィールドワークを学ばれ、その後、1956年に横浜国立大学学芸学部に入學され地質学、古生物学の基礎を学ばれました。大学卒業後、

1960年に横浜市の小学校に教諭として就職されますが、体を壊され長期にわたる療養のために退職されます。この療養期間に、完新世貝類研究のアイデアを温められたそうです。その後、1964年に神奈川県に就職され、1967年の開館に先立ち、その前年に神奈川県立博物館へ異動されました。さらに1995年の神奈川県立生命の星・地球博物館の小田原での開館に伴いそちらに異動され、1997年3月に定年退職され学芸員職を退かれた後も、博物館の名誉館員として研究活動を推進されました。

松島さんは、常々「おれは5年遅れたから、その分、人より長く研究活動をする」と口にされていました。結果、松島さんの50年以上におよぶ博物館活動にて、収集された資料はテンバコ（コンテナ箱）の数で数百を超える量に達します。1960年代や70年代は横浜をはじめとして各地で都市開発の際、その工事あるいは遺跡発掘に伴う沖積層の出現機会を逃さずに資料収集に徹されたのです。これらは、松島さんの研究を支えた証拠標本であり、この数年間は、膨大な資料の整理に時間を注がれていました。

私は、生命の星・地球博物館に1996年から在籍し、以来、大先輩の松島さんから様々な教えをいただきました。いくつかの遺跡発掘報告書では、松島さんとの共著に加えていただきましたが、貝塚産貝類の量的データの扱いの模索や縄文人たち



ボーリングコアへのコメントの様子（2013年、田口撮影）

の漁労への推察などは、自然科学的であり人文科学的でもありました。松島さんは、ときに、縄文人など古代の人々のことを「連中」と呼称されることがありましたが、これは縄文時代の生活や環境を考えていく上で必要な“縄文人に立脚する態度”のひとつの現れであったのではないかと想像します。

去年は、鎌倉低地（古鎌倉湾）の沖積層を総括すべく、鎌倉の資料の見直しをご一緒させていただいていました。「古鎌倉湾のつぎは、古大船湾と古逗子湾に手をつけよう！」と松島さんの情熱に衰えはありませんでした。さらに昨秋には、温暖種に再注目し、とくに熱帯種二枚貝のタイワンシ

ラトリにフォーカスし、鎌倉のタイワンシラトリの点検に着手したところでした。12月中旬、松島さんが入院先で記された手紙とハガキにはタイワンシラトリに関する疑問・研究課題が記されていました。私が、もう少し早く仕事を進めていれば、いくらかの成果ととともに、もっとお話ができたのにと残念に思っております。「21世紀の博物館活動は、研究で裏打ちされた展示が一層要求される」とは松島さんの言葉です。まだまだ、松島さんとの仕事はつづきます。

今後は天から私たちを見守っていただければと念じ、ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

（神奈川県立生命の星・地球博物館 田口公則）

◆日本第四紀学会 2020 年度第 2 回評議員会議事録

日時：2021 年 1 月 22 日（金） 10:00～11:50

方法：Zoom システムを用いたオンライン会議

出席者：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、高原 光（副会長）、兵頭政幸（議長）、阿部彩子、池原 研、池原 実、片岡香子、川幡穂高、小岩直人、白井正明、丹羽雄一、藤原 治、堀 和明、青木かおり、長橋良隆、水野清秀、江口誠一、北村晃寿、工藤雄一郎、近藤 恵、齋藤めぐみ、小荒井 衛、竹村恵二、山田和芳（以上、評議員）（25 名）

委任状：9 通（議長委任）

オブザーバー：町田 洋（名誉会員）、小野 昭（名誉会員）、久保田好美（庶務委員会）

藤原 治行事委員長の開会の辞、齋藤文紀会長の挨拶に続き、定足数の確認が行われ、兵頭政幸議長により議事が進められた。説明者の都合により、編集委員会報告と投稿規定の改訂に関する審議、続けて会計中間報告が先に進められた。議事終了後、高原 光副会長の挨拶をもって閉会となった。

(1) 2020 年度事業中間報告

資料 1 に基づき、各担当委員会委員長が報告事項の説明を行った（領域については水野清秀庶務委員長が代読）。

(2) 2020 年度会計中間報告

資料 2 に基づき、齋藤めぐみ会計委員長が会計

中間報告を行った。

(3) 投稿規定改訂案

資料 3 に基づき、投稿規定のうち 2-3 を改訂する提案について北村晃寿編集委員長から説明され、審議の結果、改訂案は承認された。（改訂された投稿規定全文は日本第四紀学会ホームページの「学会誌」等関係項目を参照）

(4) 役員選挙規程改訂案

資料 4 に基づき、役員選挙規程の改訂案について水野庶務委員長から説明され、審議の結果、改訂案は承認された。（改訂された役員選挙規程全文は日本第四紀学会ホームページの「会則・規程」を参照）

(5) その他意見交換

2021 年大会についての意見交換では、当初予定であった 2020 年 8 月大阪大会を 1 年延期することが基本合意事項となっていることが藤原行事委員長から説明された。しかし、2020 年オンライン大会後のアンケート結果では現地開催とともにオンライン併用などの希望もあり、今後、大阪大会 LOC と行事委員会で開催方法などの調整を早急に行うこととした。

特別委員会オンライン（または web 管理）委員会の設置予定について水野庶務委員長から説明が行われた。大会運営のうえでも必要であるなどの意見があり、設置する方向性については了承され、次回の評議員会にて提案することとした。

【資料 1】

2020 年度事業中間報告（2020 年 8 月 1 日～2021 年 1 月中旬までの経過報告）

1-1 庶務委員会（委員長：水野清秀）

1) オンライン総会（1 回：2020 年 8 月 29 日）・オンライン評議員会（1 回：2020 年 8 月 28 日）・オンライン執行部会（7 回）を開催した。議事録は随時第四紀通信にて報告した。これらの会議に用いた Zoom のホストを担当したほか、総会での参加登録・委任状の提出などを web 上で行えるように設定した。また 2020 年オンライン大会においても業務を分担した。

2) 入退会の申し出への対応を行い、会員名簿の管理を行った。2021 年 1 月 18 日時点での会員数は以下の通りである。

正会員 981 名（うち学生会費適用者 11 名）、賛助会員 9 社、名誉会員 18 名。

逝去会員：大場達之会員、松島義章名誉会員

3) 学術賞・若手学術賞・論文賞・功労賞受賞者、名誉会員の表彰式をオンラインで行った（2020 年 8 月 29 日）。また、表彰状の作成等を行った。

4) 2020 年オンライン大会での若手学生発表賞選考作業を行った。若手学生発表賞選考委員会（中島 礼委員長、山崎晴雄委員、中里裕臣委員、森 勇一委員、北田奈緒子委員）による選考結果とその後の執行部会による承認により、以下のよう
に受賞者が決定された。口頭若手部門：久保田好美会員、口頭学生部門：太田耕輔会員、ポスター若手部門：杉中佑輔会員、ポスター学生部門：酒井恵祐会員。

5) 転載許可申請に関する業務を行った（転載許可 2 件）。

6) シンポジウム等の共催・後援に関連する業務を行った（共催 1 件、後援 2 件）。

7) 会員名簿を冊子で出版することに代わり、会員の公開情報を web 上の「会員マイページ」にて会員に限定で公開する準備を進めた。公開必須項目としては、会員の氏名（漢字、カナ、英語表記）、会員区分（一般の正会員、学生・院生会費の正会員、名誉会員、賛助会員の区別）、所属領域（領域 1～領域 5）とし、一方、公開しない項目は会員番号、生年月日、性別とした。公開するか公開しないかを選択する項目は、所属機関（および部署）名とその所在地、電話番号、FAX 番号、所属先のメールアドレス、自宅の住所、電話番号、FAX 番号、個人のメールアドレスである。そのほか、会員入会年度も公開か非公開かの選択項目に加えた。初期設定の段階では、公開必須項目以外はすべて非公開とし、また公開情報はセキュリティ上、ダ

ウンロードできないようにする。2021 年 2 月には会員名簿検索が可能になるようにする。

8) 2021-2022 年度役員選挙の準備を進めた。前回と同様に web 上での投票とし、選挙の会告予定を 3 月上旬、投票期間を 4 月中旬～5 月上旬ころとした。選挙管理委員会による選挙人・被選挙人名簿確認や評議員数確定などの作業は 2 月を予定している。なお、次期役員選挙では会則第 11 条第 3 項（及び役員選挙規程第 15 条）に基づき、次期役員選挙の候補者になれない正会員数がこれまで 2 回の選挙時に比べてかなり多くなっていることから、第四紀通信において、あらかじめ立候補・推薦候補者の検討を呼び掛けることにした。

1-2 会計委員会（委員長：齋藤めぐみ）

1) 会計に関する承認業務を行った。

2) 新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な負担を考慮し、2020 年度の学生・院生会費会員は会費を全額免除とし、そのほかの会員に対しても申請により会費減免を行うこととした。

3) 2021 年 2 月 1 日時点で 2020 年度会費未納入の正会員には役員選挙の選挙権・被選挙権ともに与えられないことから、会費未納者に対して 3 回目の会費請求書を前倒しで 1 月に送ることにした。

1-3 編集委員会（委員長：北村晃寿）

1) 第四紀研究第 59 巻第 5 号（論説 1 編、書評 1 編、13 頁）、第 6 号（受賞記念論文 1 編、総説 1 編、書評 1 編、42 頁）を刊行した。第 59 巻の総頁数は 160 頁である（参考：第 58 巻 396 頁、第 57 巻 237 頁、第 56 巻 274 頁、第 55 巻 273 頁、第 54 巻 367 頁）。

2) 2021 年 1 月 19 日現在、受理済み原稿（書評を除く）は 2 編（60 巻第 1・2 号に掲載）、手持ち原稿は論説 11 編、短報 1 編、総説 2 編、資料 2 編、講座 2 編である。なお、特集号・雑録・書評を除く投稿数は、2020 年は 14 編（2019 年：23 編、2018 年：37 編、2017 年：17 編、2016 年：22 編、2015 年：12 編、2014 年：17 編）であった。

3) 第四紀研究の年間発行数を 6 号から 4 号に削減することにあわせて、第四紀研究の「J-STAGE」の「早期公開」のオンライン公開システムを実施することを執行部会に諮り、承認された（20201202）。

4) 投稿規定の一部改正案（資料 3 参照）について執行部会に諮り、次回評議員会にて提案することとした。

5) メール・オンライン編集委員会を 6 回（2020 年 8 月 12 日～8 月 19 日、8 月 21 日～年 8 月 28 日、8 月 30 日～9 月 5 日、10 月 29 日～10 月 31

日、11月13日、2021年1月10日～1月18日)開催した。

6) J-STAGE による電子ジャーナル化を行っており、2021年1月19日現在、第59巻第6号までのアップロードと公開が完了している。

7) 2019年日本第四紀学会学術賞受賞者に受賞記念論文を依頼した。

1-4 広報委員会 (委員長：白井正明)

1) 第四紀通信の編集およびメーリングリストとホームページの維持管理を行った。

2) 2020年度前半には、「第四紀通信」第27巻5、6号を編集・発行した。第28巻1号は1月下旬現在印刷中。

3) 「第四紀通信」上記各号の電子版(pdf版)を、それぞれ発行前月の下旬に日本第四紀学会ホームページに掲載した。

4) 日本第四紀学会ホームページを通じて広報、情報提供、アウトリーチ活動等を行った。ホームページについては年度内にサイトマップを構築する(現在構築中)。

5) 日本第四紀学会会員メーリングリストを通じて各種情報提供等を行った。

6) 日本第四紀学会評議員会メーリングリストおよび日本第四紀学会執行部会メーリングリストの管理を行った。

7) 2020年12月のオンライン大会では大会実行委員として広報活動その他に協力した。

1-5 行事委員会 (委員長：藤原 治)

1) 2020年12月26日(土)・27日(日)に、日本第四紀学会2020年大会をオンラインで開催した。19件の口頭発表と11件のポスター発表があった。

2) 大会期間中の12月27日(日)に、2019年学会賞・学術賞受賞記念講演会および普及講演会をオンラインで開催した。

3) 大会への事前登録は約280名。会員・非会員を合わせた参加者は初日が193名、2日目が171名、全参加者は218名(うち会員は154名)。

1-6 渉外委員会 (委員長：小荒井 衛)

1) 日本地球惑星科学連合(JpGU)関係

◆日本地球惑星科学連合2021年大会

オンライン開催+現地開催のハイブリッド開催予定

現地開催

日時:2021年5月30日(日)～6月1日(火)

場所:パシフィコ横浜ノース(神奈川県)

内容:ポスター発表メイン、特別口頭講演、イベント等

オンライン開催

日時:2021年6月3日(木)～6月6日(日)

内容:口頭発表、ポスター発表、イベント等

発表投稿受付:2021年1月13日(水)～2月18日(木)

日本第四紀学会では、「第四紀:ヒトと環境系の時系列ダイナミクス」を単独で、「活断層と古地震」を共同提案で主催。その他の第四紀学と関係する多数のセッションに共同提案母体。

H-QR04:第四紀:ヒトと環境系の時系列ダイナミクス(J、会場:ch16)

口頭:6月5日(土)AM1、AM2 ポスター:6月5日(土)PM3

S-SS10:活断層と古地震(J、会場:ch21)

口頭:6月3日(木)PM2、6月4日(金)

AM1、AM2 ポスター:6月4日(金)PM3

※それぞれの時間帯は以下のとおり。AM1:9:00-10:30、AM2:10:45-12:15、PM1:13:45-15:15、PM2:15:30-17:00、PM3:17:15-19:00

◆環境災害対応委員会

10月26日(月)に委員会がオンラインで開催された。JpGU2021大会での委員会主催セッション等について議論がなされた。

2) 防災学術連携関係

日本学術会議主催学術フォーラム・第11回防災学術連携シンポジウム「東日本大震災からの十年とこれから—58学会、防災学術連携体の活動—」を2021年1月14日(木)にオンラインで開催した。日本第四紀学会は、発表無し。配布冊子に、渉外委員長名で「「第四紀」という地球史の視点からの災害研究への取り組み」を投稿した。

3) 自然史学会連合

12月12日(土)に総会がオンラインで開催された。百原 新委員が出席した。

4) ジオパーク関係

日本ジオパーク委員会(JGC)から「ジオパーク・コンソーシアム」設立の提案と日本第四紀学会への参画依頼があった。第5領域で対処方針を検討することになった。

1-7 領域1「気候変動及び海洋の諸プロセス」(領域代表:横山祐典)

1) 2021年JpGU合同セッションの下記セッションを提案し、第四紀学会共催として開催準備を進めた。

・セッション名:「Advanced understanding of Quaternary and Anthropocene hydroclimate changes in East Asia」(U-13)

・コンピーナー:Li Lo(National Taiwan University)、窪田 薫(神戸大学)、Chuan-

Chou Shen (National Taiwan University)、横山祐典 (東京大学)

・発表日：6月5日(土) ・発表言語：英語

2) 東京大学大気海洋研究所全国共同利用の人新世GSSP—別府湾プロポーザル研究グループシンポジウムを第四紀学会共催で実施することにし、その準備を進めた。

3月27日(土) 13:00より：ウェブ開催。

1-8 領域2「陸上の諸プロセス」(領域代表：奥村晃史)

1) INQUA TERPRO 関連の国際会議等に積極的に参加する予定はあったが、3月以降のほとんどの会議が中止・延期されたため、少数のオンライン会議に会員が参加する以外の活動はできていない。2021年大会でのセッション開催や、オンラインでの会合開催を検討していきたい。

【資料2】

2020年度会計中間報告 (P11～12 参照)

【資料3】

投稿規定の「2-3 原稿の長さ」の改訂について

< 現行 >

総説は刷り上がり18ページ以内、論説・講座は16ページ以内、短報は6ページ以内、討論・解説・資料は4ページ以内、口絵・書評は2ページ以内とする。

< 改訂案 (下線部が変更部分) >

総説は刷り上がり24ページ以内、論説・講座は16ページ以内、短報は8ページ以内、討論・解説・資料は4ページ以内、口絵・書評は2ページ以内とする。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

付則 本規定は2021年1月1日から実施する。

理由 投稿を増やすため。

【資料4】

役員選挙規程の改訂について

提案の理由：会長・副会長候補者はまた、評議員選挙の被選挙人でもある場合がある。会長・副会長候補者が無投票で当選者に決まった場合に、現

在の役員選挙規程では、そのまま評議員選挙の候補者名簿に残ってしまうため、無効票(無駄な票)が増えてしまう場合が考えられる。そこで、会長・副会長候補者が無投票で当選者となった場合には、評議員選挙の前に、評議員の被選挙人名簿から、会長・副会長当選者の名前を削除しておく必要があり、それを明確にするために、第19条に文言を追加する。そのほか、文言に説明が不足している箇所があるため、その箇所の表現を修正する。改訂案では下線部分が追加または修正箇所。

< 現行 >

第6条 選挙管理委員会は、会長・副会長・評議員の選出に関する業務を行い、次点者を含めて会長に答申する。

< 改訂案 >

第6条 選挙管理委員会は、会長・副会長・評議員の選出に関する業務を行い、経過及び当選人を次点者を含めて会長に答申する。

< 現行 >

第19条 辞退届出を締め切った時点において、登録された候補者数が定数と同数以下の場合には、無投票当選とする。

< 改訂案 >

第19条 辞退届出を締め切った時点において、登録された候補者数が定数と同数以下の場合には、無投票当選とする。また、候補者が評議員選挙の被選挙権を有している場合には、無投票当選が確定した時点で評議員選挙の被選挙権を失う。

< 現行 >

第22条

5. 各領域の評議員定数は次の通りとする。
正会員数が150名以下の領域・・・6名
正会員数が151名以上の領域・・・151名を超える25名につき評議員を1名とする

< 改訂案 >

第22条

5. 各領域の評議員定数は次の通りとする。
正会員数が150名以下の領域・・・6名
正会員数が151名以上の領域・・・25名につき評議員を1名とする

< 改訂案 >

付則 本規程は、2021年1月22日よりこれを実施する。

【資料2】2020年度会計中間報告

2020年度収支中間会計報告
(2020年8月1日～2020年12月15日現在)

収入の部						(単位：円)
科 目	予 算 額 ①	12月15日現在②	増 減 ② - ①	執行率②/①	摘 要	
会費収入	9,029,000	6,609,927	-2,419,073	73.2%		
正会員会費収入	8,829,000	6,449,927	-2,379,073	73.1%	通常会員会費 6,431,093円 学生会員会費 0円 海外会員会費 18,834円	
賛助会員会費収入	200,000	160,000	-40,000	80.0%	20,000円×8社(8口)	
誌代	1,000,000	0	-1,000,000	0.0%	定期雑誌購入、Back No	
別刷代・超過頁代収入	550,000	10,760	-539,240	2.0%	59巻4号 別刷・カラー・超過頁代等	
雑収入	100,000	6,880	-93,120	6.9%	デジタルブック(6,000円)、JST等	
利子収入	1,000	52	-948	5.2%	預金利息	
広告料収入	0	0	0			
役員選挙積立金取崩収入	250,000	0	-250,000	0.0%		
INQUA対策積立金取崩収入	0	0	0			
名簿作成積立金取崩収入	450,000	0	-450,000	0.0%		
予備費積立金取崩収入	0	0	0			
収入合計	11,380,000	6,627,619	-4,752,381	58.2%		
前期繰越金	18,061,902	18,061,902	0	100.0%		
合計	29,441,902	24,689,521	-4,752,381	83.9%		

支出の部						(単位：円)
科 目	予 算 額 ①	12月15日現在②	増 減 ② - ①	執行率②/①	摘 要	
会誌発行費	3,901,200	470,800	-3,430,400	12.1%		
印刷費	2,250,000	455,290	-1,794,710	20.2%	第四紀研究 59巻4号～59巻5号	
編集費	300,000	0	-300,000	0.0%	※年度未精算	
編集人件費	1,201,200	0	-1,201,200	0.0%	※年度未精算 編集書記手当	
別刷印刷費	150,000	15,510	-134,490	10.3%	第四紀研究 59巻4号～59巻5号	
会誌・会報発送費	800,000	122,061	-677,939	15.3%	第四紀研究 59巻4号～59巻5号	
会報発行費	785,000	341,995	-443,005	43.6%		
印刷費	500,000	159,280	-340,720	31.9%	第四紀通信 27巻4号～27巻5号	
編集費	75,000	74,815	-185	99.8%	第四紀通信編集費	
編集人件費	210,000	107,900	-102,100	51.4%	第四紀通信編集アルバイト代	
学会HP運営費	170,000	65,000	-105,000	38.2%	HP更新アルバイト代	
大会運営準備金	840,000	7,370	-832,630	0.9%	2020年オンライン大会 Zoom費用(大規模ミーティング)	
巡検準備金	100,000	0	-100,000	0.0%	2021年大会	
講演会・シンポジウム費	100,000	0	-100,000	0.0%	シンポジウム・受賞記念講演開催費	
予稿集印刷費	300,000	0	-300,000	0.0%	2021年大会講演要旨集	
学会賞等顕彰費	130,000	99,170	-30,830	76.3%	賞状作成費(学術賞・論文賞等)、若手学術賞副賞	
会議費	60,000	42,790	-17,210	71.3%	Zoom利用料	
通信費	380,000	81,738	-298,262	21.5%	会費請求書発送費、事務通信費等	
旅費・交通費	100,000	776	-99,224	0.8%	会計監査会交通費	
印刷費	440,000	0	-440,000	0.0%	学会専用封筒、コピー代、総会資料等	
業務委託費	2,400,000	0	-2,400,000	0.0%	事務委託費	
領域活動費	750,000	0	-750,000	0.0%		
領域1	150,000	0	-150,000	0.0%		
領域2	150,000	0	-150,000	0.0%		
領域3	150,000	0	-150,000	0.0%		
領域4	150,000	0	-150,000	0.0%		
領域5	150,000	0	-150,000	0.0%		
INQUA対策費	0	0	0			
役員選挙費	600,000	0	-600,000	0.0%		
名簿作成費	450,000	0	-450,000	0.0%		
INQUA対策積立金繰入支出	0	0	0			
役員選挙費積立金繰入支出	0	0	0			
名簿作成積立金繰入支出	0	0	0			
予備費積立金繰入支出	0	0	0			
加盟学協会分担金支出	60,000	0	-60,000	0.0%	地球惑星科学連合、自然史学会連合分担金、防災学術連携体	
国際科学技術コンテスト協賛金支出	50,000	0	-50,000	0.0%	国際地学オリンピック協賛金	
雑費	50,000	6,153	-43,847	12.3%	振込手数料等	
予備費	30,000	0	-30,000	0.0%		
支出合計	12,496,200	1,237,853	-11,258,347	9.9%		
次期繰越金	16,945,702	23,451,668	6,505,966	138.4%		
合計	29,441,902	24,689,521	-4,752,381	83.9%		

貸借対照表
(2020年12月15日現在)

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産		流 動 負 債	
郵便振替	8,114,004	前受会費	221,000
小口現金	2,122,275	未払金	2,290
普通預金	13,272,686	小 計	223,290
現金(事務局)	93,266	正 味 財 産	
未収金	22,547	名簿作成積立金	600,000
仮払金	180	役員選挙積立金	250,000
固 定 資 産		INQUA対策積立金	300,000
定期預金	10,000,000	予備費積立金	8,800,000
		次期繰越金	23,451,668
		(前期繰越金)	18,061,902)
		(当期収支差額)	5,389,766)
		小 計	33,401,668
合 計	33,624,958	合 計	33,624,958

財産目録
(2020年12月15日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		
科 目	摘 要	金 額
郵便振替	郵便局(年会費振込専用口座)	8,114,004
小口現金	編集書記手許金	2,122,275
普通預金	みずほ銀行早稲田支店	13,065,462
普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	207,224
現金	事務局手持ち金	93,266
未収金	別刷代・超過頁代収入	22,547
仮払金	交通費過払い分	180
流動資産合計		23,624,958
定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	10,000,000
固定資産合計		10,000,000
合 計		33,624,958

(単位：円)

負 債 の 部		
科 目	摘 要	金 額
前受会費	2021年度以降年会費	221,000
未払金	旅費交通費	2,290
合 計		223,290

(単位：円)

正 味 財 産 の 部		
科 目	摘 要	金 額
名簿作成積立金	名簿作成積立金	600,000
役員選挙積立金	役員選挙積立金	250,000
INQUA対策積立金	INQUA対策積立金	300,000
予備費積立金	予備費積立金	8,800,000
次期繰越金		23,451,668
	前期繰越金	18,061,902
	当期収支差額	5,389,766
合 計		33,401,668

◆日本第四紀学会 2020 年度第 7 回執行部会議事録

日時：2021 年 1 月 19 日（火） 15:00～18:05

方法：Zoom システムを使ったオンライン会議

出席者：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、
高原 光（副会長）、水野清秀（庶務）、
齋藤めぐみ（会計）、藤原 治（行事）、
北村晃寿（編集）、白井正明（広報）、小
荒井 衛（渉外）、横山祐典（領域 1）、
奥村晃史（領域 2）、里口保文（領域 3）、
工藤雄一郎（領域 4）、小森次郎（領域 5）
オブザーバー：永峯菜穂子（事務局）、久保田好美・
高橋尚志（庶務委員会）、目代邦康（行事
委員会）

主な報告事項

- (1) 2020 年オンライン大会若手学生発表賞受賞候補者が若手学生発表賞選考委員会により選考され、2021 年 1 月 6 日メールにて執行部会で承認された。
- (2) 転載申請 1 件を承認した。
- (3) 第四紀研究第 60 巻第 1 号（論説 1 編）の印刷工程中。1 月 19 日現在、受理済み原稿（書評を除く）は 2 編、手持ち原稿は論説 11 編、短報 1 編、総説 2 編、資料 2 編、講座 2 編である。
- (4) JpGU2021 年大会は現地開催とオンライン開催を時期をずらして行うこととなった。第四紀学会主催・共催のセッションは 6 つで、ユニオンセッション「Advanced understanding of Quaternary and Anthropocene hydroclimate changes in East Asia」は台湾と領域 1 の関係者を中心に準備を進めた。
- (5) 防災学術連携シンポジウム「東日本大震災か

らの十年とこれから—58 学会、防災学術連携体の活動—」が 2021 年 1 月 14 日（木）にオンラインで開催された。配布冊子に、渉外委員長名で「第四紀」という地球史の視点からの災害研究への取り組み」を投稿した。

(6) 2020 年 12 月 12 日（土）に自然史学会連合総会がオンラインで開催され、百原委員が出席した。

(7) 日本ジオパーク委員会（JGC）から「ジオパーク・コンソーシアム」設立の提案と日本第四紀学会への参画依頼があり、領域 5 で対処方針を検討している。2020 年 11 月 5 日と 2021 年 1 月 15 日に設立準備会合があり、小森領域代表が出席した。

主な審議事項

- (1) 2020 年度第 2 回評議員会資料（報告事項と審議事項）について検討した。2021 年大会についての意見交換のため、2020 年オンライン大会でのアンケート結果を評議員会資料に加えることにした。
- (2) 東大大気海洋研究所「共同利用・共同研究拠点」の継続申請に係る要望書発出依頼に対して検討を行い、要望書を提出することにした。
- (3) 日本学術会議からのアンケート依頼について検討した。
- (4) 2020 年オンライン大会の講演要旨については、学会ホームページに公開する方向で調整を進めることにした。
- (5) オンライン委員会（仮）を特別委員会として発足させる案について検討を行い、第 2 回評議員会で意見を聞くことにした。

◆日本第四紀学会 2020 年度第 8 回執行部会議事録

日時：2021 年 2 月 14 日（日） 10:00～13:30

方法：Zoom システムを使ったオンライン会議

出席者：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、
高原 光（副会長）、水野清秀（庶務）、
北村晃寿（編集）、藤原 治（行事）、小
荒井 衛（渉外）、横山祐典（領域 1）、
奥村晃史（領域 2）、里口保文（領域 3）、
小森次郎（領域 5）

オブザーバー：三田村宗樹・井上 淳（大阪大会
実行委員会）、久保田好美（庶務委員会）

主な報告事項

- (1) 会員マイページ内で会員情報の公開・非公開の選択と会員情報閲覧ができるようにした。
- (2) 第四紀研究第 60 巻第 1 号（論説 1 編）の印刷工程中。J-STAGE への早期公開日は 2 月 15 日の予定。2 月 12 日現在、受理済み原稿（書評を除く）は 2 編、手持ち原稿は論説 11 編、短報 1 編、総説 1 編、資料 2 編、講座 2 編である。『領域 2 「陸上の諸プロセス」シンポジウム特集号—その 1』の続編編集計画の申し入れがあり、これを了解した（210204）。編集費からの支出に際しての取り決めの作成を次期編集委員会に申し送ることとした。第四紀研究引用文献の文字サイズを本文よりも小さくする体裁について検討中である。

主な審議事項

- (1) 2021 年大阪大会について議論を行い、基本は現地開催であるが、オンラインを併用、受付・設定などを業者に依頼することなどを検討することにした。
- (2) オンライン委員会（仮）の設置について検討を行い、委員会の目的、活動内容、人員などについて次回執行部会で具体案を示すことにした。
- (3) 第四紀学会が契約している Zoom アカウントを用いて、各委員会や領域などでオンライン会議を行うときのルールについて検討を行い、次回、具体案を示すことにした。
- (4) 役員選挙のスケジュールや投票方法などについて、選挙管理委員会の試案を確認し、その方針を進めることとした。
- (5) 会員名簿の廃止に伴い、会員名簿に掲載していた J-STAGE による「第四紀研究」閲覧のための ID、パスワードを、「会員マイページ」内に記載することにした。
- (6) 「第四紀研究」の著者による自身のホームページ上での論文の掲載の扱いについて、出版物利用規定等に基づいて確認を行った。
- (7) 新潟大学災害・復興科学研究所からの共同利用等に関する要望書作成依頼について検討を行い、要望書を作成することにした。

◆学生会員の皆さまへ「学生会員継続届け」提出のお願い

日本第四紀学会では、学生会員は、毎年在籍中であることを「学生会員継続届け」として提出して頂くことになっています。

2021年度（2021年8月1日～2022年7月31日）を学生会員として継続希望される方は、A4判の用紙（様式自由・ワープロ使用）に、申請者の所属・学年・氏名・連絡先・指導教官氏名を明記のうえ、指導教官の署名または捺印を添えてお送りいただくか、有効期限が明記された学生証のコピーを2021年6月18日（金）までに日本第四紀学会事務局まで郵送またはメール添付にてお送り下さい。

本届が提出されない場合は、2021年度第1回目会費請求時に、正会員会費にて会費請求がされますので、ご注意下さい。

また、日本学術振興会特別研究員（PD）や科学技術特別研究員などは通常会員となります。

問合先・送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号

新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会事務局

E-mail：daiyonki(at)shunkosha.com

TEL：03-5291-6231 / FAX：03-5291-2176

提出方法：郵便もしくはメール添付にてお送りください。

★★★ 第四紀学会に情報をお寄せください ★★★

日頃から日本第四紀学会のコミュニティへ情報提供くださり、ありがとうございます。提供された情報の円滑な配信を目指して、広報委員会から皆様へ、以下のお願いを致します。

- (1) 情報発信の手段として、ML の積極的な使用をお願いします。
 - 1) メール本文に配信内容のタイトルと簡単な情報を書いて広報委員会アドレス (jaqua-koho(at)quaternary.jp) へご投稿ください。
メール本文の情報は常識的な長さでお願い致します。
 - 2) 広報委員会にて文言の微修正を行う、または投稿した方に情報の修正・追加をお願いすることがあります。
 - 3) イベント等の周知などで当該イベントの URL がある場合、その URL も載せてください (ただし上記の通り、メール本文にも簡単な情報も載せるよう、お願い致します)。
 - 4) 第四紀学にほとんど関連しないものについては配信をお断りすることがあります。
 - 5) 学会、研究集会のお知らせでも、第四紀学会の会員間で参加費等に不平等が生じるものは配信しませんので、ご了承ください。
 - 6) 添付ファイルは ML に配信致しません。
- (2) 第四紀通信への掲載依頼、日本第四紀学会 HP への掲載依頼も受け付けておりますが、基本的に、主催・後援イベントなど第四紀学会として会員に広く周知する必要があると認められる情報、「公募・助成」情報 (こちらは HP のみの掲載となります) 等に限られます。詳しくは広報委員会アドレス宛に、個別にご相談ください。
- (3) 第四紀通信の表紙用の写真 (または作成した画像) を受け付けています。詳細は第四紀通信 27 巻 6 号の巻末をご覧ください。
- (4) 第四紀通信は偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報をなるべく早く皆様にお届けできるように、奇数月下旬に版下が完成した段階でホームページに掲載していますので、ご利用ください。

日本第四紀学会広報委員会：白井正明・オブラクタ スティーブン フィリップ・兵頭政幸・那須浩郎・植木岳雪
広報書記：岩本容子・奥村公弥子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル

株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176